○活動の感想

・調理ボランティアを希望される方が多く、初参加で一戸から、また、高校生が来てくださいました。また前回初参加だった方が継続して来てくださり、とても助かっています。

・小学生の８割が外遊びをしていないというデータ(2016～2018 千葉大学調査)が発表されました。「せいなん」では食前も食後も子どもたちは向かいの児童公園で思い切り遊ぶ様子が大変嬉しく、また一緒に遊んでくださるボランティアさんもいて感謝でした。

・７月９日はカナダのバンクーバーよりボランティアチームが来てくださり、お手伝いくださいました。高校生以上のメンバーが多かったのと、小学生６年生の初参加のこどもたちがいたので、いつもよりテンションが盛り上がり、宿題から外遊び室内遊びまで、とっても楽しい様子でした。食事のメニューはカナダらしいもので美味しく楽しかったです。

・７月２３日は、JA いわて中央青年部の皆様より事前に農産物の提供の連絡をいただき、当日の朝にどっさり産直野菜、くだもの、お米を届けてくださいました。感激でした。また、同青年部の代表の方々が夕食時に来てくださり、一緒に夕食を召し上がってくださいました。取材などもしてくださり、JA いわて中央の広報誌に載せてくださるそうです。

・盛岡タイムス新聞社からも取材があり、７月２４日の記事に載せてくださいました。

・「せいなん」が自分たちの力を超えて、どんどん広められ、協力を得られ、継続が可能となっていくのが本当に嬉しく感謝に絶えません。これからも将来の社会を担う子どもたちに、健全な愛を育む機関として、盛岡市や市内地域の皆様の支援協力いただきながら前進していきたいと強く願っています。

・岩手日報報道部様より子ども新聞の継続提供をいただけることになり、食事だけでなく、子どもの活字離れ読書離れにも協力いただける大切な支援に感謝です。

・その他にも個人的に関心をもって、食材提供くださる方もあり、感謝です。

○今後の課題

・暑い夏の食材の扱い、衛生面や調理面に最新の注意を払って,食事提供できるよう、スタッフボランティアともども常に確認していきます。

・経済的必要があるので、食材の寄附、賛助金のお願いが、利用される皆様の力で広められていくことも必要と感じています。